

一般質問

町政を問う

今回3人が質問し、
その要約を掲載しました。

三村孝信議員…………… 11P

- ・町長の施政方針について

桐原健一議員…………… 12P

- ・舟渡団地跡地について
- ・通学路の安全対策について
- ・桂中学校体育館について
- ・胃がん対策について
- ・ストーマ装具補助制度について

南條治議員…………… 13P

- ・一般会計予算案と事業計画について





みおら たかのぶ
三村 孝信 議員

本庁舎の再建について

〈町長〉 災害時の拠点としたい。



コミュニティセンター城里

〔三村〕 県内の被災自治体の中で一番早く再建を実現させる行政手腕を高く評価する。そこで、着工時期と完成予定を確認したい。

〔町長〕 平成25年9月に庁舎建設に着手し、平成26年度中の完成を目指し、災害時の拠点としたい。町民がコミュニティセンターを本来の目的で利用できるよう遅滞なく進める。

ふるさと再生について

〈町長〉 本格的に事業を進めていく予定だ。

〔三村〕 太陽光発電の誘致を図るといいうことだが、具体的な計画はあるのか。

〔町長〕 平成24年7月から再生エネルギーの買取り制度が開始した。民間事業者から町有地を活用した大規模太陽光発電施設計画の提案があり、東電との事前協議を経て、経済産業省から認定された。これにより本格的に事業を進めていく予定だ。

環境対策について

〈町長〉 町民の日常生活に混乱を生じないようになりたい。

〔三村〕 城北広域事

務組合が平成24年度で解散となったが、その影響は。

〔町長〕 平成25年4月1日から、城里町分については町単独で引き継ぐ。環境センター、衛生センターの運営については現体制を維持する。町民の日常生活に混

乱を生じないようにしたい。

七会診療所について

〈町長〉 国保運営協議会に諮問して、その後設置したい。

〔三村〕 七会診療所建設検討委員会設置

するということだが、今後の見通しは。

〔町長〕 平成25年度で委員報酬を予算化している。国保運営協議会に諮問してその後設置したい。過疎債を使いやっていきたい。

123号バイパスの整備と石塚東部地区の整備について

〈町長〉

平成26年には一部区間が共用できる予定だ。

〔三村〕 合併協議会

の中で特例債での整備を決定してから8年がたった。今後の見通しは。

〔町長〕 合併支援道

路として整備している池ノ内片山線とあわせ、平成26年には

一部区間が共用できる予定だ。石塚東部

地区の町道アジラ線を中心とした、排水整備や道路拡幅の計画策定をしている。



町道アジラ線

舟渡団地跡地について

〈町長〉跡地の利活用を進めていく。



桐原 健一 議員

桐原 その後の進捗状況について。

町長 旧坪小学校の多目的利用を具体的に進める中で、公民館としての機能や集会場施設として確保された段階で、跡地の利活用を進めていく。

桂中学校体育館について

〈町長〉
25年度は設計を進めてまいりたい。

桐原 老朽化に伴い、建て替える考えはあるか。

町長 桂中学校の体育館については、築47年が経過し、老朽化が進んでいるので、建て替えに向けて、25年度は設計を進めてまいりたい。



桂中学校体育館



舟渡団地跡地

通学路の安全対策について

〈町長〉
通学路の安全対策に全力で傾注している。

桐原 昨年8月22日に通学路における緊急合同点検を行ったが、どのような対策をしているか。

町長 小学校5校を対象に危険箇所を2ヶ所ずつ選び、合計10ヶ所の現地確認を行い、道路改良、速度規制、通行制限や横断歩道の設置等を各方面に要望した。通学路の安全確保に全力で傾注している。

胃がん対策について

〈町長〉
受診率の向上を図っていかねばと考えている。

桐原 毎年40歳以上の方を対象に胃がん検診を実施しているが、がん検診にピロリ菌検査を導入しては。

町長 本町では、毎年胃がん検診を実施しているが、受診率は平成22年度が7%、平成23年度は6.4%、平成24年度は6.8%という状況であり、受診率の向上を図っていかねければと考えている。ピロリ菌検査についても平成26年度から実施できるよう検討していく。

人工膀胱・人工肛門等装具補助制度について

〈町長〉
現在の補助制度を拡充する方向で検討していく。

桐原 特養施設入所者及び施設入所者も補助制度を適用すべきではないのか。

町長 本町では、町外の施設に入所している方に対してストーマ装具の給付は行っておりませんが、現在の補助制度を拡充する方向で検討していく。

桐原 県内で、補助制度を行っている市町村は。

町長 県内の44市町村すべてが実施しているが、給付対象者の基準については、市町村によってさまざまである。



なんじょう おきお
南條 治 議員

一般会計予算案と事業計画について

〈町長〉優先度を精査して予算に反映している。

南條 25年度施政方針に述べられた施策は予算のどの部分にあるのか。

南條 歳入の自主財源の確立について、具体的対策をどう考えているのか。

など、納税者の利便性を高め、収納率の向上に努めてまいりたい。

町長 大半が当初予算案に反映している。町の基本構想、基本計画に基づき緊急性や施策効果等を十分に検討し、優先度を精査して予算に反映している。

町長 ここ数年一般会計に占める割合が20%から22%の間で推移している。税収は徐々に震災前の水準を取り戻しつつありますが、大幅な伸びは期待できない状況である。滞納者対策を強化し、口座振替やコンビニ納付

南條 地域を活性化させる方策と町長自身の考えは、予算のどの部分に入っているのか。



那珂川大橋周辺

の中間に計上している。現在、国、県、町の三者により道の駅から周辺と那珂川の護岸を含めた一体的な整備を進め、河川敷を結ぶ遊歩道を計画している。県立自然公園の一部でもあり、これを契機に活性化につながればと期待している。

町長 観光施設費

一般財源なのか。

今回の庁舎建設に当たっては、プロポーザル方式を採用しました。

南條 総務管理費、庁舎建設費、基本設計、実施設計の費用は、又、設計コンペについて町長の考えは、財源については

町長 プロポーザル方式により委託業者を選定し、基本設計、実施設計合わせて六千九百三十万円で契約しました。庁舎建設費用については間もなく設計金額が提示されるところです。重要なことは設計者の能力や経験などの資質。設計者の選定方法で望ましいのはプロポーザル方式と言われており、

企画財政課長 震災復興特別交付税というようなことで、六億五千万円弱が措置されるのかなと現状では考えている。元利償還の七割が交付税措置されるといような情報を得ており、一般財源の大きな持ち出しにはならないと思います。



第1次城里町総合計画